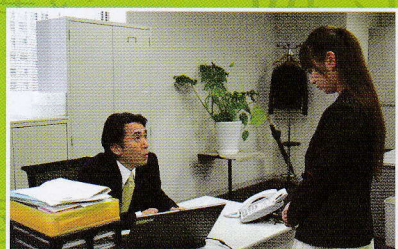
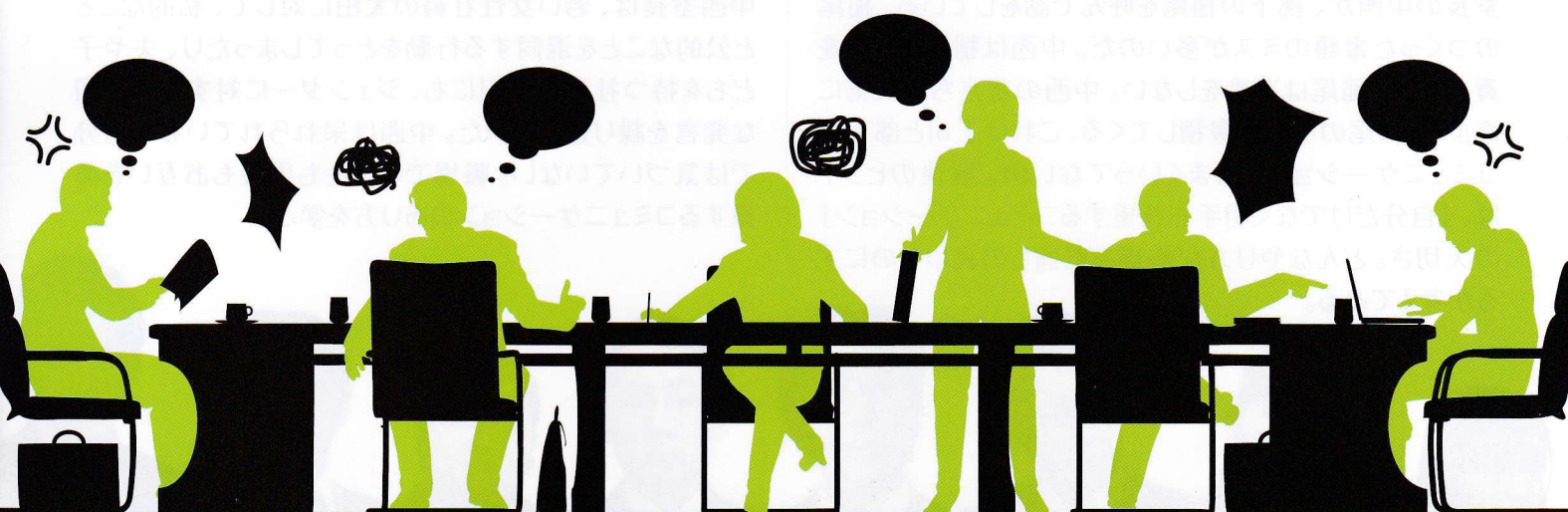


自他尊重の コミュニケーションと 職場の人権

1

ハラスメントの視点から



上映時間:23分 | 価格:69,300円(本体66,000円) | 解説書・ワークシート付 | 字幕版同時収録 | 商品コード[C#3135]

※消費税の変動により販売価格は変更の可能性があります。



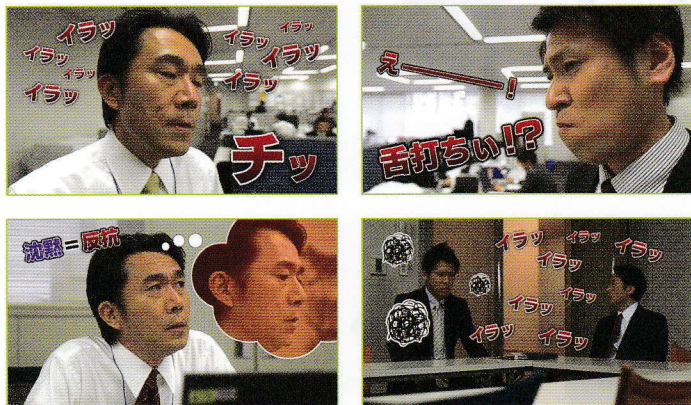
東映株式会社 教育映像部

〒104-8108 東京都中央区銀座3-2-17 <http://www.toei.co.jp/edu/>

働きやすい職場環境をつくるには、社員それぞれがお互いの立場を理解し尊重しあい、
適切にコミュニケーションをとっていくことが大切です。

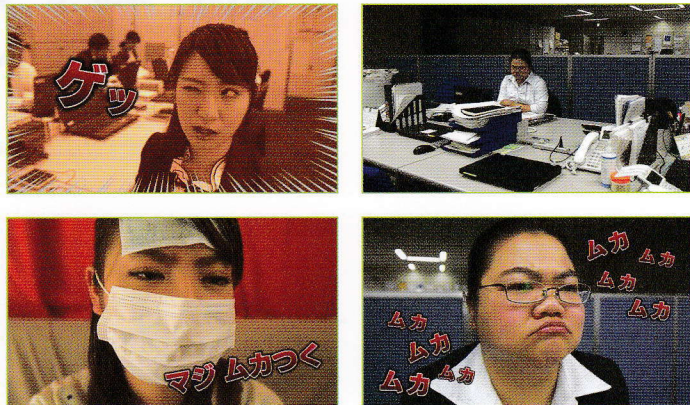
この教材は、職場の身近なコミュニケーション不全が
ハラスメントの問題につながっていくことをドラマ形式でわかりやすく伝え、
どうすれば健全な職場環境を育てることができるか皆で考えていくための教材です。

〈上司 ⇄ 部下〉



室長の中西が、部下の稲尾を呼んで話をしている。稲尾のつくった書類のミスが多いのだ。中西は稲尾のミスを責めるが、稲尾は返事をしない。中西の苛立ちは次第に高まり、稲尾の不満も鬱積してくる。これは上司と部下のコミュニケーションがうまくいってない例。解決のヒントは、「自分だけでなく相手も尊重するコミュニケーション」の大切さ。どんなやり方が職場を風通しの良いものにするか考えてみる。

〈女性 ⇄ 男性〉



中西室長は、若い女性社員の太田に対して、私的なことと公的なことを混同する行動をとってしまったり、夫や子どもを持つ社員の小川にも、ジェンダーに対する不適切な発言を繰り返していた。中西は呆れられているが自分では気づいていない。職場で、女性も男性もお互いを尊重するコミュニケーションのあり方を学ぶ。



撮影:白石 晋也 | 照明:香川 和代 | 音声:岡本 洋平/阿保 毅 | 音響効果:引地 康文 | MA:高橋 友樹 | 編集:加藤 雄一
プロデューサー:中鉢 裕幸/釜谷 正一郎/木下 勢治 | 脚本・監督:前田 和男
制作協力:アマゾンラテルナ | 企画・制作:東映株式会社 教育映像部

2013年作品

 東映株式会社 教育映像部

<http://www.toei.co.jp/edu/>

関東営業推進室 〒104-8108 東京都中央区銀座3-2-17 TEL.03-3535-3631
関西営業推進室 〒530-0001 大阪市北区梅田1-12-6 TEL.06-6345-9026
広島出張所 〒730-0015 広島市中区橋本町5-2 TEL.082-511-2066
福岡出張所 〒810-0801 福岡市博多区中洲4-3-18 TEL.092-262-3101

■お買い上げは…

北辰映像株式会社